

## 1日体験入学報告

服部秀人<sup>\*1</sup>・小澤志朗<sup>\*2</sup>・堀内征治<sup>\*3</sup>・山本行雄<sup>\*4</sup>

### A Report on Nagano Kosen's Open House Project for Junior High School Students

Hideto HATTORI, Shiro OZAWA, Seiji HORIUCHI, Yukio YAMAMOTO

キーワード: 体験入学, 中学生

#### 1. はじめに

本校では平成9年度に中学生を対象にした1日体験入学をはじめて実施した。本校をつぶさに見てもらい、体験学習を通して本校への理解を深め、多くの中学生に本校を受験してもらいたいという目的である。本年度は昨年度の反省を踏まえ、やや異なったスタイルで実施した。本報文は、これら2回の1日体験入学に関する報告である。

#### 2. 体験入学

平成9年度は10月25日(土)に実施した。この時期では、中学生の進路選定にとって遅いのではないかということと、本校の工嶺祭の翌週末で少しハードスケジュールであるといった反省から本年度は9月12日(土)に実施された。

##### 2-1 参加者数

今年度は99中学校(県下98校,新潟県1校)から377名(生徒253名,保護者112名,先生12名)の参加があった。昨年度は97中学校(県下94校,新潟県3校)から335名(生徒235名,保護者97名,先生3名)であった。

##### 2-2 実施内容

体験入学の具体的な行動日程と各学科ごとの学習内容を表1から表7に示す。表1から表4は昨年度、

- \*1 教務主事補(環境都市工学科教授)
  - \*2 教務主事補(一般科助教授)
  - \*3 平成9年度教務主事補(電子情報工学科教授)
  - \*4 教務主事(電子情報工学科教授)
- 原稿受付 1998年10月30日

表5から表7は本年度のものである。表3は平成10年度も同様である。

昨年は各学科の学習時間を45分として半日で希望2学科を体験したが、体験学習の時間を長くしたいとの反省から、各学科の体験時間を2倍の90分とし、希望学科を午前・午後各1学科体験できるようにした。また昨年同様、体験学習と並行して、入学試験や学校生活、寮のことなどについての相談コーナーとともに、校内の施設・設備の見学時間を設けた。

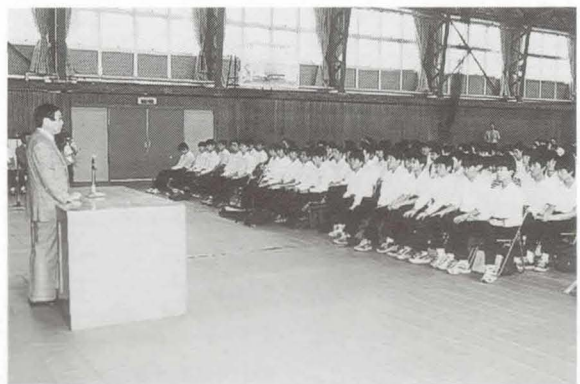


写真1 校長挨拶

#### 3. 参加者の感想と要望

昨年度も今年度も体験学習終了時に全参加者に対してアンケート調査を行った。以下にそれらの結果について述べる。

##### 3-1 アンケート集計結果

表8にアンケートの集計結果を示す。質問内容・選択項目から大体の傾向がつかめよう。全体として

は両年度ともにほぼ同じような傾向が見られる。

### 3-2 体験入学の感想

アンケートに記載された要望と感想を以下に記載する。カッコ内の数値は同じ内容の回答者数である。同じ回答がなかったものに関してはほとんど割愛したが、興味のある内容のものはここに挙げた。なお、平成9年度については割愛した。

#### 3-2-1 中学生の要望と感想

##### (要望)

- 他の学科も(全部)見たかった。(6件)
- 授業をもっと解りやすくやって欲しい。(4件)
- もっと体験を多くして欲しい。(3件)
- 楽しむ時間をとって欲しい。(2件)
- 移動が大変で、疲れた。(2件)

##### (感想)

- いろいろ見れて(体験できて)良かった。(10件)
- 設備も整い(多くあって)良い学校。(9件)
- 楽しく分かりやすかった、面白かった。(8件)
- 高専の中の様子、学科での授業がわかり、体験も豊富でとてもよかった。(6件)
- とても興味の湧く内容で良かった。(5件)
- 先生・学生は親切に対応してくれた。(4件)
- 親切に、詳しく教えてもらって良かった。(4件)
- 先輩の方がとても親切で、いろんなことを知っていてすごいと思った。(4件)
- 難しいことを分かりやすく教えてもらい、理解できた。(4件)
- 学食おいしかったです。(2件)

#### 3-2-2 保護者・先生の要望と感想

##### (要望)

- 保護者向けの見学は疲れた。(2件)

##### (感想)

- 教職員の案内および説明がとても親切で感銘を受けた。(7件)
- 校内の事情が分かり、大変参考になった。(6件)
- 設備が充実していて、恵まれた環境だと感じた。(3件)
- 各学科の説明は丁寧で、かつ具体的で良い。(2件)
- 参加人数(志望者)が多いのに驚いた。(2件)
- 普通高校の知識しかなかったが、このような学校もあることが認識できた。
- 進路を決める大きな手がかりになった。
- 補助学生の指導がとても良かった。
- こんな学校で子供が勉強できたら、と強く感じた。
- 南信ではなかなか高専の実情がわからないので、

良い企画である。



写真2 コンピュータ実習

## 4. 体験入学の反省と意見

平成9年度および10年度の体験入学実施後に、本校教職員に対してアンケートを実施し、感想・要望を求めた。以下に、その主なものを記述する。

初年度の反省が、即座に次年度に生かされていることが分かる。また、2年間の経験の中で、この事業が有意義であるとする意見が多く見られる。ただ、本事業について、疑問を唱えるメンバーを有す学科も見受けられ、実施についての本質的な議論が今後とも必要であることを示している。

### 4-1 平成9年度について

#### 4-1-1 各学科(学科主任)の感想・要望

##### 機械工学科

○実施時期については夏休み中から9月初旬が適当と思われる。

○申し込み時期を早めにして、人数を把握し綿密な準備に反映させたい。

○スケジュールの点で、45分授業では生徒も我々もあわただしい。50～60分ほしい。

○見学会も学科紹介と設備の説明もしたいので20分はほしい。来年は2週間で2回に分けたらどうか。

○手渡す資料を作成準備したいので、中学校の先生の見学人数を早めに知りたい。

##### 電気工学科

○中学生に電気工学の内容を伝えたかったが、45分では短すぎた。

○午前と午後と人数に差があった。長野地区でも一部午後に回し、ほぼ同人数にしたほうがよい。

○各学科共通の分野、例えばインターネットなどは一般科で扱ってほしい。

○高専5年間の学生生活をイメージできるような案内がほしかった。

○10月中旬では進路が決まっており遅すぎる。夏休みを利用してはどうだろうか。

○中学生の校内見学は希望者だけに限ったほうがよかったのではないかな。その分体験入学の時間を増やすほうがいい。

○体験入学のPR不足。TV, 新聞などマスコミを利用できないか。

#### 電子制御工学科

○午前, 午後の2回に分けて体験させたらどうか。

○生徒に積極性が見られず, 受け身であった。公開講座のような体験が必要と思う。

○見学会は, 昼休みを長くとり, 自由に見学させたらどうか。自分の見たい学科に時間をかけさせるほうが良いと思う。

○保護者は自由参観とする方が良い。子どもの体験中でも自由に参観してもらう。

○生徒, 保護者に我々がゆっくり話し掛ける時間がなかった。

#### 電子情報工学科

○盛りだくさん過ぎるのではないかな。見学会ではガイドが連れて歩くロスタイムがどうしても多くなるので, 最初に選択させてはどうか。

○体験入学の意味を見直すべきではないだろうか。体験するのは何かを決めて, ある程度時間を掛けて, 経験することであり, 1日で学校全体の中身を体験させること自体に無理がある。

○目的が学校の中身全体をある程度知ってもらうことが目的であるなら, コースを決めた見学, 説明会風にした方がまだ理解しやすいと思う。

○学科の説明や準備, 展示などはむしろ学生を主体にしてやらせた方が, 見学に来る学生や保護者に受け入れられやすいのではないかな。ただ, 学校の説明, 相談には今回のような説明会, 相談会を持つことは良かったと思う。

○色々難しい問題はあるかもしれないが, 高専といえども英語, 国語, 社会, 歴史などの情操教育をちゃんとやっていることを保護者に知ってもらうことが必要である。保護者にとっては, 3年で終了する場合, あるいは途中で大学受験に変更する場合, 一般の高校大学受験コースとどう異なるのか, あるいは同じなのかが関心事ではないだろうか。

#### 環境都市工学科

○体験入学は有意義だったと思われるが, 見学会については時間が少なく, 印象深く紹介することが困難なので, やらなくてもよいのではないかな。

○父兄の見学が大勢だったのは予定に入れてなかったもので, 資料を慌てて増刷したが, 間に合わず, 配布できない父兄もかなり出た。来年度は, 見学する父兄の人数を概略調査してもらいたい。

#### 一般科

○一般科教官が行った引率業務については, さほど生産的ではなく, 時間的に拘束された。仕事としてのやりがいを感じられない。

○一般科主任の説明する場所があっても良い。

○基本的に専門学科のPRの場所であった。1・2年の基礎教育の面をもっとPRしても良い。

○中学生参加者にとってせわしない。休む時間もなく, 行事が盛りだくさんすぎた。体験学習の時間を長くして, 他学科の見学は必要がない

○見学は, 参加者の自由意志で回れるようにした方が良い。

○良い面をPRするのは当然のことだが, 実際の面(授業のことなど)を知らせた方が良いのではないだろうか。偏ったイメージをもたれてしまうのではないかな。

○工嶺祭直後の日程は非常に困る。特に担任はオープンカレッジのような形で, 中学生対象ではなく地域に向けて, 仕事として研究の成果を発表したりするような広報活動をするのはどうだろうか。

#### 4-1-2 主事, 主事補, 課長等の反省

○時間の関係で, 本校の, 入学, 勉強, 進路についてのすべてについての説明や体験ができなかったため, 入学してからの専門の勉強に絞って実施した。もう少し広い範囲での内容を考えたい。例えば, 中学生に学校全体の説明をする時間をとったり, 一般科の体験学習などを検討したい。

○相談コーナーは, ほとんど切れ目なく相談があった。準備資料, 相談者の配置などを, 大勢の相談者に対応できるものにしたい。また, 相談コーナーの広報の方法についても検討したい。

○申し込みは個人を前提にしたが, 中学校では学校で把握したいところもある。学校単位の申し込みも可能にしたい。

○保護者の参加が多く, 見学時に混雑した。午後は3班編成にしたが, もっと多人数に対応できるようにする必要がある。

○見学時間が少なく, まとまった説明ができなかった。見学路が非常に長く, 誘導が大変であった。今回の方法で行なうか自由見学にするかを検討したい。

○午前と午後の2回にしたことは, 遠方の中学生の

参加がしやすくなったと考えられる。ただし、体験入学の時間が3時間と短かった。体験学習の時間が短いため、まとまった内容にするのが難しかった。

○本校学生が多数補助員として援助してくれ、参加者からの評判も良かった。

○記録写真を撮らなかった。来年度は準備したい。

○報道関係への広報はしなかったが、長野市民新聞が取材に来校した。来年は事前に報道機関への広報をしたい。

○中学校に対する体験入学の通知は、なるべく早く行ない、中学生が体験入学の参加計画を立て易いようにしたい。

○全体的に見て、体験入学の時に中学生参加者に提示される情報量はかなり多い。

○体験学習では情報(教材)の精選をし、実技に重点を置くこと、見学では、引率見学でなく全学科同時に2度ほどの説明開始時間を設定し、参加中学生に自由に回らせるのはどうか。

○保護者および引率の先生対象の学校説明は効果があったと思う。この部分を中学生本人対象に行うとよい気がする。

○質問コーナーも予想以上の参加があった。時間帯をうまく設定すればもっと質問が多くなるのではないと思われる。

○1日(3時間)での日程はきつい。内容の精選も必要であるが、丸一日の行程(全体で2日間)を考慮した方がよいのではないだろうか。体験実習は本校志望者に貴重な情報になる気がする。

○体験入学の意義、取り組みについて、全教官の意識が一致していない気がする。

○公開講座と同様に、希望する生徒から直接往復はがきで申し込みをさせたが、来年度は「参加希望の中学生は、各中学校の学級担任の先生又は直接本校へ申し込む」という文言にして、中学校毎に参加者をまとめて申し込みをしてもらう方法も考慮したい。

#### 4-2 平成10年度について

##### 4-2-1 各学科(学科主任)の感想・要望

###### 機械工学科

○午前中の保護者の学校内見学をもう少し工夫する必要がある。体験授業に保護者の見学があると授業がやりにくい。

○市内の高校の体験入学とはなるべく重ならない日に実施できないか。

○教務委員と主事補を除いて専門学科から生徒の誘導係・体験授業担当をお願いしたので機械工学科は

手不足であった。入試に関連する学校全体の行事なので、一般科の先生方がもう少し参加しなくて良いものだろうか。

○保護者の学科説明時間を8分以内と指定されたが、実際8分以内で説明するのは不可能だった。1学科8分だと40分(5学科)で終わってしまうはずで、移動時間を考えても時間が余る。12分くらいにしても良かったのではないか。

###### 電気工学科

○昨年度より学科紹介の時間が長くなり、余裕が出来てよかった。

○補助学生を約20名依頼したが、評判がよかった。

○昼休み部活の活動状況も見学できるようにしたら良いのではないか。

○新聞広告できないか。中学校を経ずに個人的に申し込めないのか。E-Mailのある中学校には利用できるようにする。

○体験入学を実施していなかった時、中学校の先生方を本校に招いて長野高専紹介をしていたが、100名を超える盛会であった。今回の体験入学に参加した先生は12名である。先生方に高専を知ってもらう機会(実際に見学することも含む)が少なくなったのではと、危惧している。

###### 電子制御工学科

○今回は、10分くらいの実習や説明を6個所で行った。複合学科であるために、いろいろな分野(電気、機械、制御、情報など)を見せる必要があるが、見学会のようになってしまうため、もうすこし時間をかけて、ゆっくり実験や実習をさせても良いと思う。

○保護者、先生の見学の班の人数にアンバランス有り。小人数でローテーションできないだろうか。

○昨年より良くなったが、時間が少なく見学が主体になってしまった。

###### 電子情報工学科

○一般教官の支援を受けて実施した「やさしい物理」は、大変良かったと思う。専門学科を易しく展示、説明することも必要ではあるが、中学生が高専に入学して直ぐ接するのは一般科目であり、その観点で、高専ではこのような将来の夢と希望を持てるというPRをしていくことが必要と思われる。

○むしろ逆に、高専の専門課程では一体何を教えているのか、大学とどこが違うのか等という疑問、さらに、一般課程では英語、国語、倫理など一般教養は普通高校や大学の教養課程に比べて遜色はないのかという疑問が保護者や中学の先生にあるはずであ



る。現在のやり方では、この疑問に充分答えているとは思えない。

○専攻科がどうなるか、まだ不透明であるが、高専では大学と異なり実業学校として、リフレッシュ教育、できれば生涯教育、地域への貢献という点で力を入れているというPRをもっと行うべきではないだろうか。

#### 環境都市工学科

○昼食時のスペースがたりない。

○全体に全学科の紹介やクラブの紹介をする機会がほしい。

○サポートの学生と対話する機会があればよい。

○案内も学生にしたらどうか。

○これによって入学希望者が増えるとは考えにくい。

○体験学習の時間配分は適当であった。

#### 一般科

○中学校の先生・保護者の案内については、ほとんどの参加者が学校見学に参加した。5班編成で約20名の見学者を引率して、5学科を見学した午後の日程はよかった。

○午前の見学時間は実質30分ぐらいで時間が不足した。2班編成にしたため、情報教育センターでは体験学習に支障をきたした。技術教育センターとAVC室で説明を聞くぐらいがよかったと思う。

○午後の日程で体育館に保護者も集まるのなら、そこから案内すればよかった。

○中学校の先生・保護者の行動として、学校見学と相談コーナーにしばらく事前に班編成と学科見学の予定が立て易い。

○事前打ち合わせを前日をお願いしたい（人数が把握できないので、当日班編成を行った。保護者の班編成を事前に行えればよい）。

○見学に関する計画を一般科主任が行ったが、来年度は教務委員会で原案を立てる必要があると思う。

#### 4-2-2 主事、主事補、課長等の反省

○寮についての説明が100番教室で、全体説明の中で実施されているが、寮の見学時に行ったかどうかとの意見がある。つまり、寮の見学希望者は、寮食堂で、寮に関する全体の説明を聞き、続いて、25名位のグループになって寮の見学を行うといった手順で実施した方が、能率的で、混乱もなく、説明が行き届くものと思われる。

○学生食堂が大変混雑し、一部の生徒は13時20分頃まで食事をしていて、受入体制を改善し、混雑の緩和を図りたい。

○マスコミへの通知は、従来の記者クラブへの資料送付方法から直接各社へ発送した結果、信濃毎日新聞と長野市民新聞の2社の取材があり、通知方法を変更した効果があった。

○体験入学申し込みを往復はがきでしたほうが、こちらからの直前の連絡もできるし、申込者がどのコースに申し込んだかメモにもなるので、受付時に混乱しなくてすむ(今年度やや混乱が見えた)。

○保護者は、校内見学・進学相談・子弟と一緒に体験参観という選択肢があったが、体験参観をする場合、参加中学生はそれぞれのコースでさらにグループ分けをされることが多いのでなかなか合流できないようであった。

○相談コーナーは全部で40~50人は来ていたように思う。昨年より盛況で、真剣な保護者が多かった。午前中の来室者が多く、このような集中時には相談員をできるだけ大勢そろえておく必要がある。

○教務関係で答えること(推薦入試の条件・合格レベル・学力と内申の関係など)を統一しておけば、厚生補導、教務、寮務などとコーナーを分ける必要はないと言う声もあった。

○一般科の教官の一部に体験入学に関する認識がないように感じる。相談コーナー、校内見学、寮案内等で、一般科の教官の参加が望まれる。

○開会時に「校長挨拶」だけでなく、本校についての共通な話題提供を行う機会にすると効果的と思われる。

○体験授業を、もう少し短くして、昨年のように生徒が(今年の保護者対象の見学のように)グループで見学する時間をとってもよいのではないだろうか。見学コースの設定を早めにし、徹底を図りたい。今回は、連絡が遅れ、共通施設(情報教育センター、AVC室)の対応が不十分になってしまった。

## 5. 本校1年生へのアンケート

平成10年度の1年生に対し、平成9年度の1日体験入学に参加したかどうか、また進路決定の際に同行事への参加が有効であったか尋ねた。以下に結果をまとめる。

### 5-1 アンケート集計結果

表9にアンケートの集計結果を示す。前出の体験入学参加者のアンケートは受験前の中中学生を対象にしているため、なかなか本心を答えてもらえないきらいがあると想像できるが、もうすでに高専の学生である1年生はおそらくもっと率直に答えているも

のと思われる。しかし、その中でも最初(体験入学参加時)から最後(現在)まで自分の希望が実現してきている学生とそうでない学生、例えば2次志望の学科で入学したり、入学しても高専生活の内容が自分の想像とかけ離れている場合では、おのずと回答に違いが出てくるであろう。

表9で注目したいのは、1年生の46%が体験入学に参加しており、その80%の者が体験をした学科に入学しているという回答である。1年生の半数近くが本校を体験した上で自分の進路を決め、入学してきている。平成10年度の本校合格者数に占める体験入学者数を表10に示す。

表10 体験入学者数

	合格者数	体験入学者数
機械工学科	41	19
電気 //	41	17
電子制御 //	41	17
電子情報 //	41	21
環境都市 //	41	20
合 計	205	94 (45.8%)

#### 5-1-1 参加しなかった理由

参加しなかった理由を以下に示す。カッコ内の数値は同内容の回答者数である。

○興味がなかった。(10件)

○面倒だった。(7件)

○当時は受験する気がなかった。(7件)

○もうすでに知っていた。(2件)

#### 5-1-1 体験入学の感想

体験入学の感想を以下に示す。

○すぐ移動するのでじっくりと見れない。もっとゆっくりまわりたい。(8件)

○体験入学ではこの学校のいいところしか見せなかったから、入学してきてギャップを感じた。(6件)

○実際に見て触れたこと(実習があること)が良かった。(3件)

○授業(一般の授業)についてもっと知りたかった(専門以外)。(2件)

○靴の履き替えが面倒くさい。(2件)

○できれば全学科見たかった。(2件)

○体験入学に参加してとても楽しかったのでこれからもあんな感じのものを望む。(3件)

○いきなり難しいことを言われても分からないからもっと分かって興味が持てるようにして。(3件)

○他校よりも高専のほうが役立つと思った。(2件)

○実際に学んでいる学生にいろいろ聞けて良かった。

(2件)

○体験入学のときに寮メシを食べさせよう。

## 6. 入学志願者倍率について

体験入学実施と入学志願者倍率との関係を表11に示す。群馬、東京、長岡、長野の各高専で体験入

表11 体験入学開始前後の入学志願者倍率

高専	茨城	小山	群馬	東京	長岡	長野
3年前	2.2	2.6	2.7	2.0	2.2	1.9
2年前	2.1	2.9	2.2	1.7	1.9	1.8
1年前	2.1	3.3	2.2	1.9	1.5	1.6
開始年	93年	81年	89年	95年	94年	97年
1年後	1.8	2.9	2.5	2.0	1.8	2.0
2年後	1.7	3.8	2.1	1.9	2.3	—
3年後	1.8	3.3	2.0	2.1	2.3	—

木更津高専は回答なし。(教務係調べ)

学実施翌年の志願者倍率が上がっている。とりわけ、本校は4ポイント上昇している。これらの数字から見ると、体験入学によって志願者倍率が上がったと言えるかもしれない。

## 7. あとがき

昨年度と本年度にわたり、全校をあげて取り組んだ1日体験入学について記録にしたためた。今年度は昨年度の反省に基いて計画し、実施されたが、本文に記したように種々の改善事項が指摘されている。

アンケートに見られるように、多くの参加者が本校に良い印象を抱かれたようである。1年生の46%の者が昨年の体験入学に参加し、その80%が体験した学科に入学している。自分の目で確かめて志望学科を選んだわけで、目標を描いて入学してくるであろうから、より意欲を持って勉学に取り組むことが期待される。

志願者倍率を見ると、冒頭で述べたように、体験学習を通して本校への理解を深め、多くの中学生に本校を受験してもらいたいという願いは多少なりともかなえられた感がある。

## 謝辞

ご多忙の中を体験入学に参加された皆さんと実施に当たり尽力された本校の皆さんに敬意と感謝を申し上げます。また、本報文作成に当たり資料を用意していただいた学生課 寺島俊幸教務係長にお礼申し上げます。

表 1 中学生の日程（平成 9 年度）

項目	午前の部	午後の部	場所	内容
受付	08:30～	12:30～	情報棟前	配布資料受領 （体験入学のしおり、長野高専あんない、アンケート等）受付後、100 番教室に集合する。
集合	08:55	12:55	100 番教室	選択コース別に整列
校長挨拶 日程説明	09:00～ 09:10～	13:00～ 13:10～	100 番教室	
移動（休憩）	09:15～	13:15～		誘導に従って各コース毎に移動
体験学習 1	09:25～	13:25～	各教室	表 3 のコース別に受講（場所は表 4 を参照）
移動（休憩）	10:10～	14:10～		誘導に従って各コース毎に移動
体験学習 2	10:20～	14:20～	各教室	表 3 のコース別に受講（場所は表 4 を参照） 最後にアンケートの記入、提出
休憩	11:05～	15:05～		体験学習 2 の教室で休憩
校内見学	11:10～	15:10～		誘導に従って各コース毎に移動（表 E）
解散	12:00	16:00		
進学相談	12:00～ 13:00	16:00～ 17:00	図書館センター 1F ロビー	希望者に対して行います。進学のこと、高専の様子など特に相談のある方は直接どうぞ。
学寮見学	12:00～ 13:00	16:00～ 17:00	学寮	希望者に対して行います。解散直後に学生玄関前に集合して下さい。誘導いたします。

表 2 先生および保護者の日程（平成 9 年度）

項目	午前の部	午後の部	場所	内容
受付	08:00～	12:30～	情報棟前	参加生徒と一緒に受付
集合	08:55	12:55	100 番教室	生徒の後方に整列ください
校長挨拶 日程説明	09:00～ 09:10～	13:00～ 13:10～	100 番教室	
休憩	09:15～	13:15～		
学校説明	09:25～	13:25～	100 番教室	本校の概要についてご説明いたします。
進学相談	10:10～ 10:40	14:10～ 14:40	図書館センター 1F ロビー	希望者に対して行います。進学のこと、高専の様子など相談のある方はどうぞ。
校内見学	10:40～	14:40～		誘導より移動（図書館センター 1F ロビーから）
解散	12:00	16:00		当該生徒と合流（学生玄関前）
学寮見学	12:00～ 13:00	16:00～ 17:00	学寮	希望者に対して行います。解散直後に学生玄関前に集合して下さい。誘導いたします。

表 3 体験学習をする学科（コース別）（平成 9, 10 年度）

コース番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
体験学習 1	M	M	E	E	S	S	J	J	C	C
体験学習 2	E	S	J	C	J	E	M	C	M	S

学科略記号：M:機械工学科 E:電気工学科 S:電子制御工学科 J:電子情報工学科 C:環境都市工学科

表4 各学科の体験学習のテーマ（平成9年度）

学科	体験学習内容	場所
M	学科紹介	43 番教室 or 44 番教室
	1)機械の実験をしよう	各実験室
	2)機械を作ろう	機械実習工場
	3)コンピュータを使って機械を学ぼう	43 番教室
	4)コンピュータで機械製図を描こう	情報教育センター
E	学科紹介	電気基礎工学実験室
	1)鉄道模型の制御実験	電気基礎工学実験室
	2)コンピュータの応用	電気基礎工学実験室
	3)電力の発生と利用	自動制御工学実験室
S	学科紹介	電子基礎実験室
	1)無人搬送車の電子回路	電子基礎実験室
	2)搬送車の走行試験	電子基礎実験室
	3)搬送車のギアボックスの加工	生産技術実験室
	4)工場ロボット操作	生産技術実験室
J	学科紹介	電子工学実験室
	1)太陽電池って何だろう（太陽電池と乾電池）	電子工学実験室
	2)X線で IC の中身をさぐる	電子工学実験室
	3)コンピュータグラフィックスプログラミング	情報処理実習室
	4)インターネット体験	情報処理実習室
C	学科紹介	53 番教室
	1)測量：光波測距儀による距離測定 実体鏡による空中写真の実体視	53 番教室
	2)製図：ドラフターによる製図 CAD による描画	54 番教室
	3)波動観測：地震計とオシログラフ使用	54 番教室

表5 中学生の日程（平成10年度）

項 目	時 間	場 所	備 考
受 付	10:00～	体育館前	配布資料受領（体験入学のしおり、長野高専案内、アンケート用紙等）受付後、体育館に集合
集 合	～10:30	体育館	選択コース別に整列
校長挨拶	10:35～	体育館	
日程説明	10:45～		
移動（休憩）	10:50～		誘導に従って各コースごとに移動
体験学習1	11:00～	各教室	表3のコース別に受講（場所は表7を参照）
昼 食	12:30～		学校食堂・控室を御利用ください。
集 合	～13:20	体育館	選択コース別に整列
移 動	13:20～		誘導に従って各コースごとに移動
体験学習2	13:30～	各教室	表3のコース別に受講（場所は表7を参照）最後にアンケート記入、提出
解 散	15:10		
学寮見学	15:15～ 16:30		希望者は図書館センター1階に御集合ください。御案内致します。



表6 先生および保護者の日程（平成10年度）

項 目	時 間	場 所	備 考
受 付	10:00～	体育館前	生徒と一緒に受付をなさってください。
集 合	～10:30	体育館	生徒の後方にお並びください。
校長挨拶	10:35～	体育館	生徒と一緒にお聞きください。
日程説明	10:45～		
移動（休憩）	10:50～		100番教室へ御案内致します。
学校説明	11:00～	100番教室	本校の概要を御説明致します。
※ 相談コーナー	11:30～	図書館1階の第2ゼミ室	入学試験、学校生活、卒業後の進路、学寮等についての相談コーナーです。
※ 校内見学			校内を御案内致します（図書館1Fより）。
※ 生徒と合流			生徒の体験学習を見学できます。
昼 食	12:30～		学校食堂・控室を御利用ください。
集 合	～13:20	体育館	午前のように御集合ください。
上記※印と同じ	13:30～		上記備考欄をご参照ください。
解 散	15:10		アンケートを図書館センター1階の回収箱に御提出ください。
学寮見学	15:15～ 16:30		希望者は図書館センター1階に御集合ください。御案内致します。

※印：ご自由に選択なさってください。

表7 各学科の体験学習のテーマ（平成10年度）

学科	体験学習内容	場 所
M	学科紹介	視聴覚教室
	1) コンピュータで設計製図	情報教育センター
	2) リュージュに乗ろう	技術教育センター
	3) 飛行機を持ち上げる空気の力って？	流体実験室
	4) エンジンの構造を学ぼう	熱実験室
	5) コンピュータの中で物体の形を変えてみよう	第1材料実験室
E	学科紹介	電気基礎工学実験室
	1) 電子回路の応用	電気基礎工学実験室
	2) 鉄道模型の制御実験	通信工学実験室
	3) コンピュータの応用	41番教室
	4) 電力の発生と利用	42番教室
S	学科紹介とやさしい授業	61・62番教室
	1) 無人搬送車の電子回路	電子基礎実験室
	2) 搬送車の走行試験	電子基礎実験室
	3) 音声の秘密	電子基礎実験室
	4) 搬送車のギアボックスの加工	生産技術実験室
	5) 工場ロボット操作	生産技術実験室
	6) 光学顕微鏡による材料観察	生産技術実験室
	7) 工場のものはこび	生産技術実験室
J	学科紹介	電子工学実験室
	1) やさしいふつりとでんし	電子工学実験室
	2) コンピュータグラフィックスプログラミング	情報処理実験室
	3) インターネット体験	情報処理実験室
C	学科紹介	53番教室
	1) 橋はどのように設計するの？	53番教室
	2) 命の水を科学してつきあう	53番教室
	3) 初めて？のCAD体験～都市に木を植えよう～	54番教室
	4) 液状化を解明する	土質実験室
	5) 鉄の強さを調べる	構造実験室

表8 平成10年度(および9年度)1日体験入学参加者アンケート結果

質問内容	選択項目	生徒	(9年度)	保護者	(9年度)	合計	(9年度)	%	(9年度)
回答者の内訳	1. 生徒	239	235	0	0	239	235	72	81
	2. 保護者	0	0	90	54	90	54	27	19
	3. 先生	0	0	1	2	1	2	0	1
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	239	235	91	56	330	291	99	101
性別	1. 男性	210	186	34	16	244	202	74	69
	2. 女性	28	49	50	40	78	89	24	31
	無回答	1	0	7	0	8	0	2	0
	合計	239	235	91	56	330	291	100	100
選択体験コース 平成9年度と形式が 異なるので、データ は10年度のみ示す	1. ME	44	-	0	-	44	-	13	-
	2. MS	19	-	0	-	19	-	6	-
	3. EJ	29	-	0	-	29	-	9	-
	4. EC	5	-	0	-	5	-	2	-
	5. SJ	48	-	0	-	48	-	15	-
	6. SE	9	-	0	-	9	-	3	-
	7. JM	36	-	0	-	36	-	11	-
	8. JC	23	-	0	-	23	-	7	-
	9. CM	18	-	0	-	18	-	5	-
	10. CS	8	-	0	-	8	-	2	-
	11. 保護者	0	-	91	-	91	-	28	-
	合計	239	-	91	-	330	-	101	-
本校への来校回数	1. はじめて	177	147	72	41	249	188	75	64
	2. 前にも来た	61	94	18	14	79	108	24	36
	無回答	1	0	1	0	2	0	1	0
	合計	239	241	91	55	330	296	100	100
来校した内容	1. 工嶺祭	8	27	4	3	12	30	14	28
	2. 公開講座	50	54	12	7	62	61	74	56
	3. ふれあいサタデー	2	6	0	0	2	6	1	6
	4. その他	6	7	2	4	8	11	10	10
	合計	66	94	18	14	84	108	99	100
今回の参加目的	1. 志望しているから	146	160	74	52	220	212	53	55
	2. 高専知りたい	145	140	40	27	185	167	45	43
	3. その他	8	4	0	2	8	6	2	2
	合計	299	304	114	81	413	385	100	100
興味を感じた学科名	1. 機械	93	62	22	22	115	84	21	18
	2. 電気	64	64	25	18	89	82	16	18
	3. 電子制御	66	56	34	28	100	84	19	18
	4. 電子情報	115	116	38	33	153	149	28	32
	5. 環境都市	50	50	33	16	83	66	15	14
	合計	388	348	152	117	540	465	99	100
受験希望の有無	1. 受験希望	163	140	77	30	240	170	73	59
	2. 希望しない	3	4	0	0	3	4	1	1
	3. 現在未定	73	89	14	24	87	113	26	39
	合計	239	233	91	54	330	287	100	99
受験希望の内容	機械	32	22	12	7	44	29	22	17
	電気	14	22	10	3	24	25	12	15
	電子制御	21	25	9	5	30	30	15	18
	電子情報	62	55	16	10	78	65	39	38
	環境都市	18	16	5	5	23	21	12	12
	合計	147	140	52	30	199	170	100	100
体験入学の感想	1. 大変良かった	126	143	54	43	180	186	55	65
	2. まあまあ良かった	91	69	35	10	126	79	38	28
	3. 普通	17	11	1	1	18	12	5	4
	4. やや不満	3	3	0	0	3	3	1	1
	5. たいへん不満	2	5	0	0	2	5	1	2
	無回答	0	0	1	0	1	0	0	0
	合計	239	239	91	91	330	285	100	100

表9 1日体験入学平成9年度参加者のうち入学者対象1年後アンケート集計 平成10年10月

	質 問 内 容	合 計	%		%
I. 昨年の体験入学への参加	1. 参加した	11	11		
	a. 一人で	44	43		
	b. 友人と	44	43		
	c. 保護者と	2	2		
	d. 先生と	1	1		
	e. その他	14	14		
	b.c. 同時選択者				
	合 計	102	114	実 数 88	46
2. 参加しなかった	a. 知らなかった	36	35		
	b. 他の高校へ行った	19	18		
	c. 他の用事があった	16	15		
	d その他	33	32		
	合 計	104	100		54
II. 今までに公開講座に参加したことはありますか	1. 公開講座参加あり、体験入学参加あり	26	14		
	2. 公開講座参加あり、体験入学参加なし	17	9		
	3. 公開講座参加なし、体験入学参加あり	60	32		
	4. 公開講座参加なし、体験入学参加なし	86	46		
	合 計	189	101		
III. 体験入学は高専への進学決定に役立ちましたか	1. たいへん役立った	19	20		
	2. まあまあ役立った	51	54		
	3. ぜんぜん役立たなかった	5	5		
	4. 体験入学に関係なく志望学科を決めた	20	21		
	合 計	95	100		
IV. 体験をした学科に入学しましたか	1. 入学した	70	80		
	2. 入学しなかった	17	20		
	合 計	87	100		
V. 他の高校の体験入学に比べて本校のものの感想はいかがですか	1. たいへん良かった	11	16		
	2. まあまあ良かった	23	34		
	3. 普通	21	31		
	4. やや不満	10	15		
	5. たいへん不満	2	3		
	合 計	67	99		